

連絡責任者各位

「社会調査士指定科目証明書」のお願い

2004年12月20日

社会調査士資格認定機構
資格認定委員長 杉山明子

このたびは、「第一回社会調査士資格（取得見込み）」の認定作業にご尽力いただき、まことにありがとうございました。皆様方のご協力によりまして、全体で530名（30大学33機関）の認定者を決定することができました。

この資格認定作業を進める中で、以下のような「証明書」に関する問題点が明らかになってきました。

* 科目履修証明書・単位取得証明書の記載が不十分な場合

資格認定委員会では、個人申請書と、公式書類とをつき合わせて認定作業をおこなっております。この際、公式書類で確認する「情報」は、科目名・担当教員名・クラス名・開講年度・在籍期間です。しかし、大学によってはすべての「情報」が公式書類に記載されていないケースがありました。

* 科目履修証明書・単位取得証明書の記載時期が大学によって異なる場合

個人申請書には「社会統計（前期開講科目）」を単位取得済みと記入されていましたが、大学の成績証明書では、履修中と記載されていました。この事実について、連絡責任者に確認したところ、前期履修科目を修得した場合でも、成績証明書には来年三月にならないと記載されないとのことでした。

今回の認定作業では、上記のような場合には、各大学の連絡責任者に、認定機構と各科目担当教員、また各申請者（学生）の間に入っていただき、確認作業をお願いしました。この方式では、連絡責任者、認定機構事務局双方の確認作業が膨大になっているのが現状です。

そうした中で、立教大学からは、大学独自の「社会調査士指定科目証明書」（添付資料）を作成して提出されました。（添付資料は、立教大学の書式を一部修正したものです）

この書式には、必要な情報がすべて記載されており、確認作業が容易におこなえるものでした。そこで、社会調査士資格認定機構としましては、各大学でこの種の書類発行をご検討いただくようお願いしたいと考えております。この書類によって、大学の連絡責任者と認定機構事務局間の膨大な確認作業を少しでも軽減できればと考えています。すぐに実行できなくとも、将来的な導入も含めてご検討いただければ幸いです。もちろん不可能な場合は、現行のように認定機構から連絡責任者の皆様に確認作業をお願いいたします。

社会調査士指定科目証明書

xxxxx 学部 xxxxx 学科

X 年次在学

認 定 太 郎

19xx 年 x 月 xx 日生

上記の者が修得した(履修中である)社会調査士指定科目は下記の通りであることを証明する

対応認定 科目番号	科目認定番号	学 科 目 名	担当教員名	単位	成績	履修年
A	XXXx-111111-1	社会調査論	x x	2	合	2002
B	XXXx-222222-2	社会調査方法論	x x	2	合	2003
C	XXXx-333333-3	データ解析演習	x x	2	合	2002
D	XXXx-444444-4	調査統計学	x x	2	合	2003
E	XXXx-555555-5	多変量解析演習	x x	2	-	-
F	XXXx-666666-6	質的調査演習	x x	2	合	2004
G	XXXx-77777-7	社会調査実習	x x	4	履	2004

履(履修中) 合(合格)

2 0 0 x 年 xx 月 xx 日

xx 大 学

XXXX (学長・学部長等責任者氏名)